**第3回 演習：数式の挿入・編集（やさしめ版）**

*コンピュータリテラシ応用（CL-Apply）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学籍番号 | 氏名 | 提出日（YYYY-MM-DD） |
| ＿＿＿＿＿＿＿＿ | ＿＿＿＿＿＿＿＿ | ＿＿＿＿＿＿＿＿ |

# **提出情報**

● 提出先：Moodle > 第3回 > 課題「第3回 演習（数式の挿入・編集）」

● 提出ファイル名：**学籍番号\_氏名\_03\_Equation.docx**

　例）20A3001\_山田太郎\_03\_Equation.docx

# **クイックチュートリアル（先に確認）**

1) 数式の挿入：挿入 → 数式（推奨）／ショートカット：Alt + =（Macはツールバーから）

2) 分数・平方根など：数式ツール（デザイン）から選択

3) 行内と独立表示：行内＝本文の中、独立表示＝中央に大きく表示（右クリックで切替）

4) 線形 / プロフェッショナル表示：右クリックで切替（見やすい方＝プロフェッショナル）

# **作業チェックリスト**

□ 行内の数式を1つ以上挿入した

□ 独立表示の数式を2つ以上挿入した

□ 分数・指数・平方根のいずれかを使った

□ ギリシャ文字（例：π）や数式記号（±, ≤, ≥など）を1つ以上使った

□ 体裁（前後の余白・中央揃えなど）を整えた

## **演習0：行内式の練習（小課題）**

下の文の【ここに行内式】の位置に、行内の数式として「x^2 + y^2 = r^2」を入力してください。

例文：円の方程式は、【ここに行内式】 で表されます。

## **演習1：指数（独立表示）**

次の式を“独立表示”で中央にきれいに配置してください。

式：E = m c^2（c は上付きの 2 で指数）

|  |
| --- |
| ここに数式（独立表示）を挿入 |

ヒント：m^2 のように ^ を使うと指数を入力できます。

## **演習2：分数と平方根（二次方程式の解）**

次の式を“独立表示”で入力してください（分数、平方根、±、指数を使用）。

式：x = (-b ± √(b^2 - 4ac)) / (2a)

|  |
| --- |
| ここに数式（独立表示）を挿入 |

ヒント：分数（Fraction）→平方根（Radical）→指数の順に組み立てると楽です。

## **演習3：総和記号**

次の式を“独立表示”で入力してください（総和の下限・上限、分数を使用）。

式：S = Σ\_{k=1}^{n} k = n(n+1)/2

|  |
| --- |
| ここに数式（独立表示）を挿入 |

ヒント：Σ（シグマ）の下に k=1、上に n を指定します。

# **仕上げチェックと提出**

□ 行内式と独立表示を使い分けた

□ 分数・平方根・指数が正しく表示されている（線形表示のままになっていない）

□ 前後の余白を調整し、数式が中央にきれいに配置されている

□ ファイル名が規則どおり（学籍番号\_氏名\_03\_Equation.docx）

自己申告：本提出物は自分で作成しました。署名：\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_